

『令和6年度 全国体育系大学学長・学部長会 シンポジウム』開催要項

1. 日 時 : 令和6年12月7日(土) 13:00~16:00
2. 場 所 : ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3
グランフロント大阪北館 B2F JR大阪駅より徒歩5分
3. 主 催 : 全国体育系大学学長・学部長会
4. 開催方法 : 対面(定員:80名)・オンラインのハイブリッド
5. 参加費 : 無料(どなたでもご参加いただけます)
6. 全体テーマ:「体育・スポーツ・健康系の領域におけるDXを考える」

7. 趣 旨 :

様々な分野においてDXの重要性が指摘されている。

文部科学省が令和2年に提示した「デジタル化推進プラン」においては、「教育におけるデジタル化の推進」や「デジタル社会の早期実現に向けた研究開発」として、教育や研究におけるデジタル化推進の方向性が示されている。また、スポーツ庁が策定した第3期スポーツ基本計画では、DXの導入によってスポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性を高めることを政策目標として掲げ、「スポーツ実施におけるデジタル技術の活用促進」や「デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出」を挙げている。

一方、コロナ禍を経て国内の大学においては、業務改革といった面での「業務DX」や、オンライン授業や教育データの活用といった「教育DX」が進められ、さらに研究データマネジメントやオープンサイエンスといった「研究DX」も展開されつつある。

このような背景の中、体育・スポーツ・健康系の大学や学部においても様々なデジタル化推進・DXに関わる取り組みが展開されていると予想される。しかしながら、本質的には身体活動を対象とした教育・研究を行っている体育・スポーツ・健康系の大学・学部においては、例えばオンライン授業の実施に際し実技教育に関する対応が必要であったように、分野独自の工夫が必要とされていることも多い。

体育・スポーツ・健康系の大学・学部・学科において、DXという文脈においてはどのような取り組みが行われ、あるいは求められているのか。本シンポジウムでは、スポーツ・健康づくりの実践現場でのDXに関する事例を紹介しつつ、体育・スポーツ・健康系の領域におけるDXについての今後を展望する。

8. プログラム:

開 会 13:00~ (受付開始 12:30)

会長挨拶 13:05~ 全国体育系大学学長・学部長会会長 金久 博昭(鹿屋体育大学)

基調講演 13:15~ 「体育・スポーツ・健康系の領域におけるデータ蓄積と活用の可能性」
講 師 田中 孝氏【ユーフォリアR&Dセンター長】
楠本 一樹氏【ユーフォリアONE TAP SPORTS チーム】

パネルディスカッション 14:30~ 「スポーツDXの事例から未来を展望する」

パネリスト

数野 真吾氏

【B.LEAGUE バスケットボールオペレーショングループ】

竹尾 賢二氏

【㈱ティップネス DX戦略部長、日テレホールディングス㈱、鹿屋体育大学特任研究員・URA】

沼田 薫樹氏

【大阪体育大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 講師】

ファシリテーター

和田 智仁氏【鹿屋体育大学 スポーツ情報センター長・教授】

閉 会 16:00

情報交換会 16:10~ (※1時間程度 参加費無料)

9. 参加申込 : 下記のURLからサイトにアクセスのうえ、お申し込みください。

URL : <https://www.nifs-k.ac.jp/sympo-20241207/>

10. 申込締切 : ① 会場参加 11月15日(金) → 11月29日(金)まで延長
② オンライン参加 当日まで可

11. 問合せ先 : 全国体育系大学学長・学部長会 事務局(鹿屋体育大学 総務課)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

電話: 0994-46-4811 E-mail: soumu-h@nifs-k.ac.jp